

# 東由利村報

農事特集 32.7.10  
発行所 秋田県東由利村役場  
印刷所 株式会社本間印刷所

## 割合順調なこれまでの生育

### 七月の稲作管理

六月三十日現在までの気温は、平均気温で平年より一・五度低くなっているが、日照が多く降水量が少ないので稲の生育状況は草丈は一寸位短い、茎数が約一本、葉数で約四枚、生体重で約三割平年より増さっている結果で割合順調である。

七月後半の天候予報をみると梅雨あけは多少遅れても中旬にはあけ、その後一時低温になるかもしれない。天気は夏型に変わって高温の日が多くなるが、上旬後半から中旬始めにかけて、また下旬半ば頃ころになると大雨が降るかもしれない。

このことから稲は割合進んでいるので除草作業はできるだけ早目に終り、稲を若返えらせないようにすることが大事である。その他管理上の注意としては①圃面が乾きはじめた所

## これからイモチの多発時期

### 防除方法あれこれ

なんといつても稲の大敵はイモチ病である。これからイモチ病の本格的な発生時期をむかえるわけだが参考にこの防除方法を記してみよう。

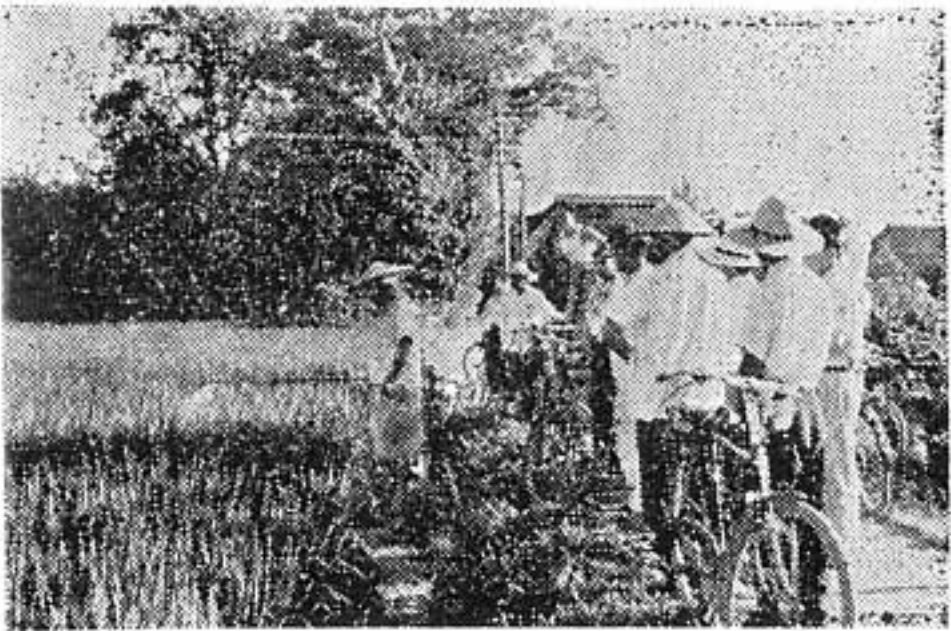
まず早期発見に努め適期に薬剤を散布することが大事である。

イモチ病の病斑が多くなればなる程、病斑から出る毒素のため稲の生育が抑さえられ、片輪な生育をし、ズリコミ状態になるから早く見つけて防除しなければならぬ。広範囲に発生したならば共同による一斉防除が最も効果的である。イモチ病の防除薬剤はセレンサン石灰、リオゲンダスト、ルペロン石灰等があり、効果はいずれも同じように考えてよい。これら薬剤の品切れの時は止むを得ず銅及び銅水銀剤を使ってもよいが、普通はこれらを使用しない方がよい。

## 薬剤散布の注意と発生地の栽培管理

▽現在、粉剤は粒子が細かくなっているため、風の強い時に散布するのは一番無駄であるから無風の朝なぎ、夕なぎに散布する。少し風がある時は風の方向等に注意する。

(よく風上みで吹き流しているのを見かけるが、薬剤の粒子が葉に附着するのが緩かで、風雨



【写真は二・四一Dの散布】

に簡単に流されたり、作物のすみずみまで薬がとどかないから量をあまり多くしないで吹きつける様に散布するとよい。▽散布時に朝露、夜露、雨露が多少茎葉に残つて居つてもさしつかえないが、部分的に多量附着しない様に注意する。

▽散布翌日の降雨は、その効果には殆んど心配はいらないし、長雨の時は一寸した雨の晴れ間を利用して散布するとよい。

▽降雨による流亡を恐れて多量の薬剤をかけた多発地点や病斑の多い等の理由で多量の薬剤の散布は行わないこと。

▽一人で長時間の散布は体の為良くないし、散布する時はマスクをかかならずすること。また露のある時等の散布の際は人間の皮膚がただれるから注意をする

次にイモチ病の常発地及び発生田の栽培管理は▽晩期の追肥及び穂肥は行わない様にすること。

▽除草作業は出来るだけ早目に切り上げ稲の根や茎葉をいためない様に

▽中干し等はやら

## ある程度の減収を考えて

### 撒布は十日から二十日頃まで

## 除草剤の知識

今年、労働力の軽減から除草剤を使用したという農家が多いが、危険をともなうので使用には注意が必要である。

現在除草剤は稲作に使用しても絶対に安全だとはいえないが、若し減収しても極く僅かだといふ見地から

①稲の生育が遅れたもの

②弱い分けつよりしないもの

に使用すると減収するから、稲の分けつも草丈も良く、穂数も十分に確保出来る見透しのあるものにだけ使用するように、またヒエ取りは手取りの際か出穂後早目に取るとよい。

## 使用上の注意

▽撒布時期 有効分けつの出揃

## 気温表 (6月中の平均)

	平	均	最	高	最	低
本年	19.47		24.58		14.36	
平年	21.04		25.39		16.68	
差	-1.57		-0.81		-2.33	

## 稲の生育状況 (6月25日現在)

	草	丈	茎	数	葉	数	生	体	重
本年	34.69		9.2		34.45		42.50		
平年	38.31		8.6		30.26		33.00		

【いずれも由利病虫害防除所調べ】

【次頁下段へ続く】



# 明るい農村生活

本荘地区農業改良普及事務所長

佐藤辰郎

農村が暮しやすく働くことが楽しい処になるために、農家経営の改善や生活の樹て直しなど、農家の人達が世間の進歩に遅れないようにする色々な考え方の勉強が盛んに進められています。なぜ農村は科学の進歩と歩調を合せて進めないのか、と考えますとそれには各種の障害がありその原因を先ず自分の家庭、農家経営などから省りみて具体的に突きつめてみましょう。例えば何故自分の家の経済が豊かにならないかと考えると、それには耕地が少ないとか、生産力が低い、技術が未熟であるとかもつと細かく分けて品種が不適だとか肥料の使い方が下手だとかいろいろあるでしょう。これを正確に知るためには前年に克明に記帳しておいて分析してゆきますと原因がはつきりするのです。これが究められるともしめたものです。

この自分達の経営なり生活なりが振がつてゆく途を邪魔する項

## 【く】【ら】【し】【の】【意】【見】

よく私は主婦の集りに出席してこんなことをいっているので

「貴女の家で毎月生活費がどの位かかっていますか」

しかし、はつきりした数字で答えてくれる人は少ない。たいてい主人が財布を持っているのでどの位使っているのかはつきり分らない、という人が多い。婦人問題の評論家が「家族会議」を開いて

家族の多数の意志によつて家庭生活を運営しなければならぬといつておるが、農村ではそんな事が簡単にできるだろうか。何故主人が独裁者になり、女性は従属の生活から

抜かせないのだろうか。農家経済を考えると、男性と女性との間には経済的役割に大きな差があり、したがって家庭内における差ができてくる。これでは家庭の民主化はで

目がわかれば、後はそれを一つ一つ取除く事にかかるわけですから、もちろん新しい勇氣と努力がい

にのるでしょう。次に農業のことばかりでなく、私達の生活のことも同じように

さえもつと大きかつた」などと云うものです。一方今の若い人達は権利だとか義務だとかを家庭の中に迄持ちこむ事もある

お互いに個人を尊重し合うことになれば良いようですが感情の

きないとアキラメざるを得ない。しかし静かに家庭生活を考えてみると、女性の発言のないところに生活の向上がありうるかと

## 貴女はサイフをまかせてもらえるか

生活改善普及員

高橋政子

不満な顔をしている。これでは責任をもつて創意工夫を生活にもたらすことなどとうてい考えられないことである。

まず経営主夫婦の家庭的地位が平等になることが第一で、今までのようにそれぞれのシワヨセを弱いものに向けているだけではいつまでたつても農家生活の

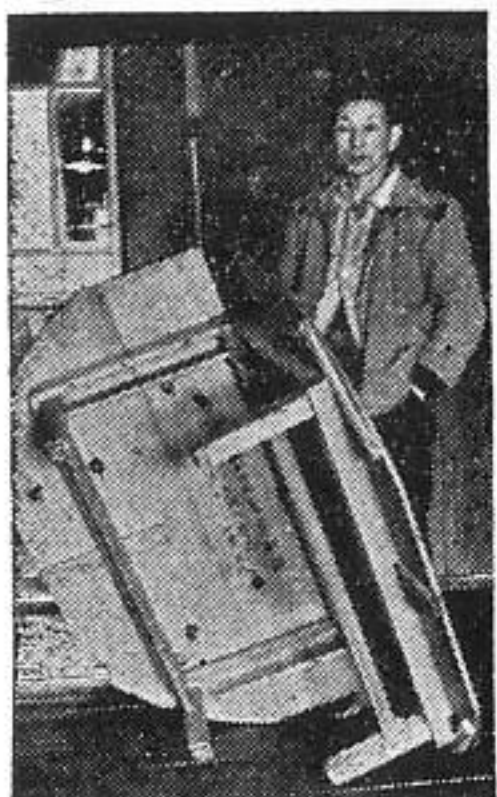
塊りみたいで人間どうしには容易に一つの糸口すら発見できない事もあるのです。農家の青年が農業を嫌つて都会へゆきたがつたり、娘が給料取りにあこがれて農村のたくましい若者の魅力を見つけないでいたり、こんな事の原因を打破しないとこの

「泣いて暮しても五十年、笑つて過しても五十年」親から子へ子から孫へえん／＼として引継がれてゆく農家生活はこ

小林一茶は越後へ帰つてこんな句を詠んでいます。雪の下の

改善は望まれない。現在の生活に満足しておらず、農家生活の実務者である主婦は自分の生活を研究し、家族の健康を守るためにも健全な生計を続けるためにもよく計画を立て、主人をうまく動かす、生活に創意工夫を

じ問題について話し合うようにすれば、貧しい生活の中からもアキラメの雲をとりはらい、明るい我が家のくらしに希望が持てるものと思われる。



## 【前頁より続く】

▽撒布前後の水のかけひき 撒布する前日から田の水を落し雑草が完全に出る様にする。排水が不充分であると効果が充分に上らない。撒布後は約一昼夜したら静かに水を入れて雑草が

くれる程度の深目とする。▽噴霧機の洗滌 使用後の噴霧機は水(又は温湯がよい)で三回以上洗うこと。

## M・C・P

### 使用上の注意

稲に対しては二、四一Dよりも安全であり、除草効果も二、四一Dと同じ位である。又使う時期も少し早目でもよい。

M・C・Pは液剤であるが反当の撒布量は一三〇グラムを三斗の水に溶かして使う(使用上の注意は二・四一Dと同じ)

## 水中一・四一D

### 使用上の注意

湿田や水がかりの悪い所では完全に水を落すことが出来ないの

## 余 録

▽今回の農事特集は戸嶋普及員ならびに本荘地区農業改良普及事務所の方々の全面的な協力をいただきました。

▽三年連続農作に努力される皆さんの資料となれば幸いです

## 便利な飯台

手数であるとともに不潔にしておかれやすい箱膳を廃止して、家族が楽しいフンイキで食べようと考案されたのがこの折たたみ式の飯台。使用しないときは

【写真は普及事務所提供】